

(8) 心の状態

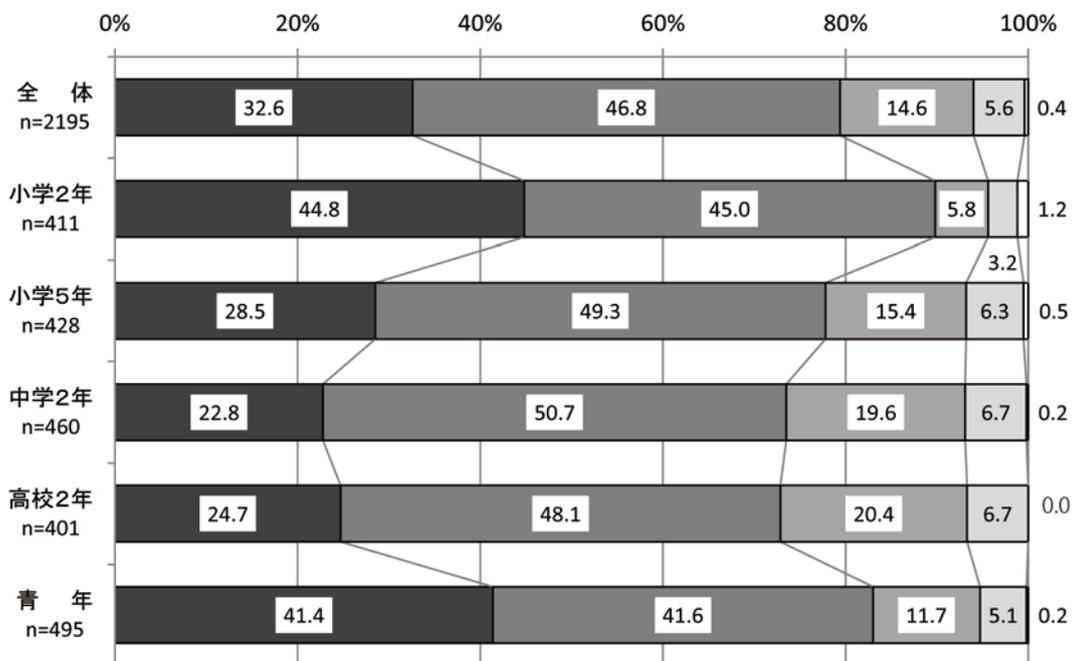
▶▶▶ 1 自己肯定感（自分にはよいところがあると思う）

問
あなたは、自分にはよいところがあると思いますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

どの年代でも「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると7割を超えている。年代別に見ていくと、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせて一番多かったのは小学2年であり、次に青年、小学5年と続いている。一番少なかったのは高校2年である。

図62

自分にはよいところがあると思う



■ある(はい)
 ■どちらかといえば、ある(どちらかといえばはい)
 ■どちらかといえば、ない(どちらかといえばいい)
 □ない(いい)
 □無回答
 ※()は青年の選択肢

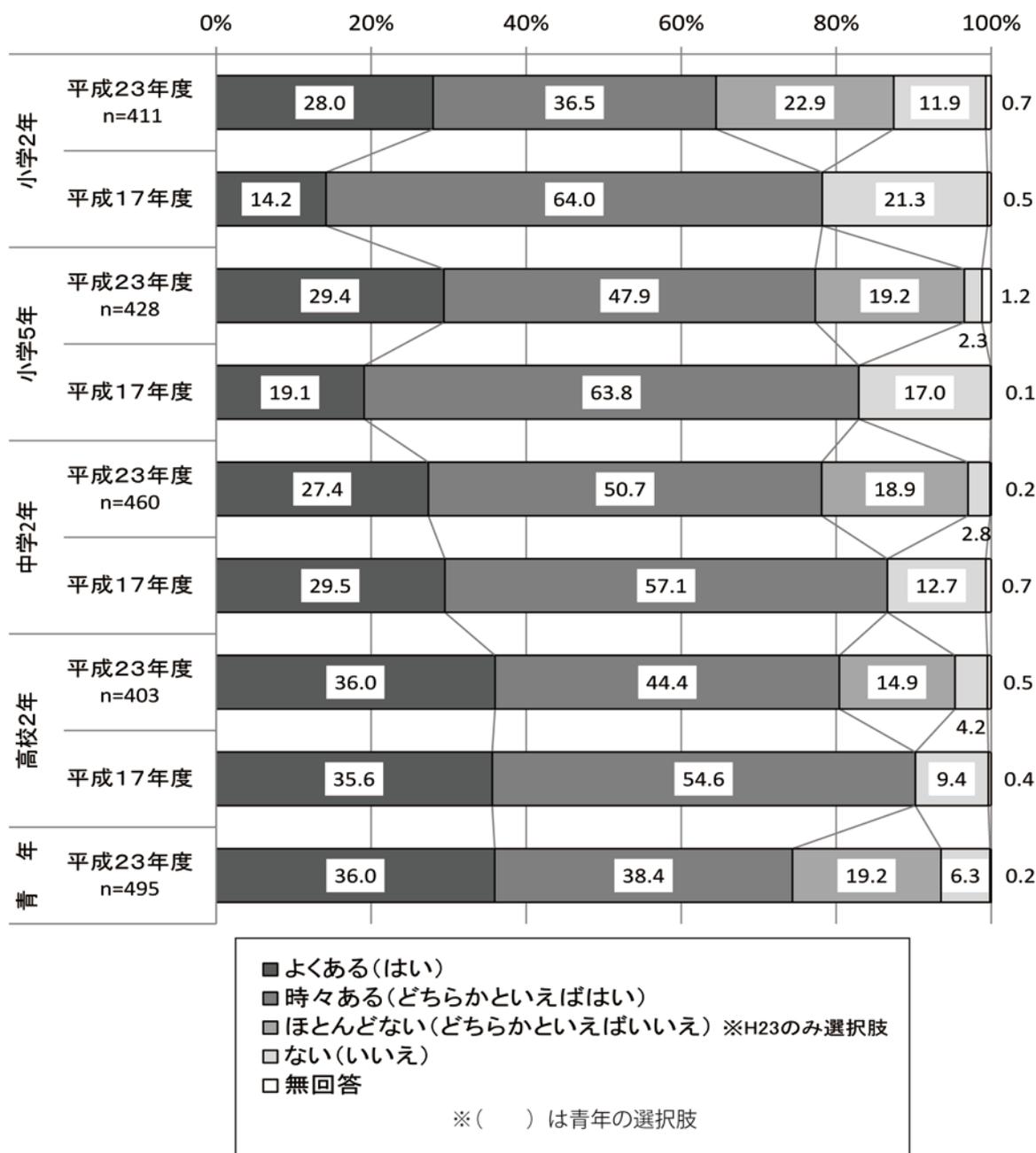
▶▶ 2 抑うつ感（いらいらしたり おこりっぽくなったりすることがある）

問
あなたは、いらいらしたり、おこりっぽくなったりすることがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較すると、「はい」と回答した方の割合は、中学2年以外で増加しているが、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると、全ての年代で減少している。

図63

いらいらしたりおこりっぽくなったりすることがある
(平成17年度調査との比較)



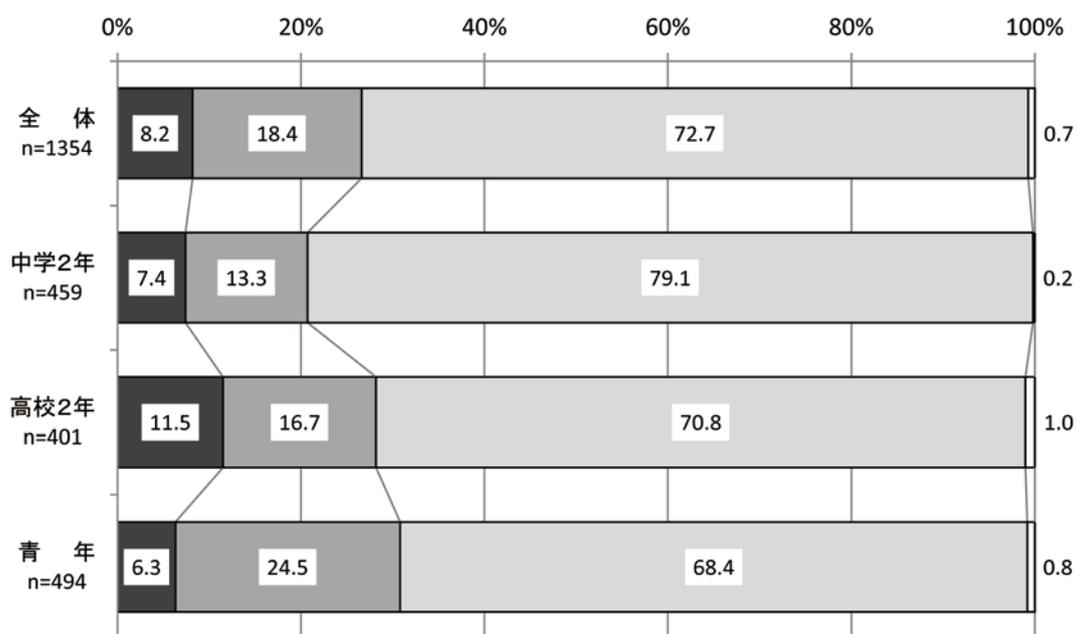
▶▶▶ 4 抑うつ感（死のうと思ったことがある）

問
 あなたは、最近1年ぐらゐの間に「死のうと思った」ことがありますか。それぞれ当
 てはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。
 （青年は「18歳（高校卒業）までにあるか」）

年代別に見ていくと、「ない」と一番多く回答しているのは中学2年で約8割、次に高
 校2年で約7割であり、青年は7割に満たない。

図65

死のうと思ったことがある



■ときどきある(よくあった) □1~2度ある(ときどきあった) □ない □無回答
 ※()は青年の選択肢

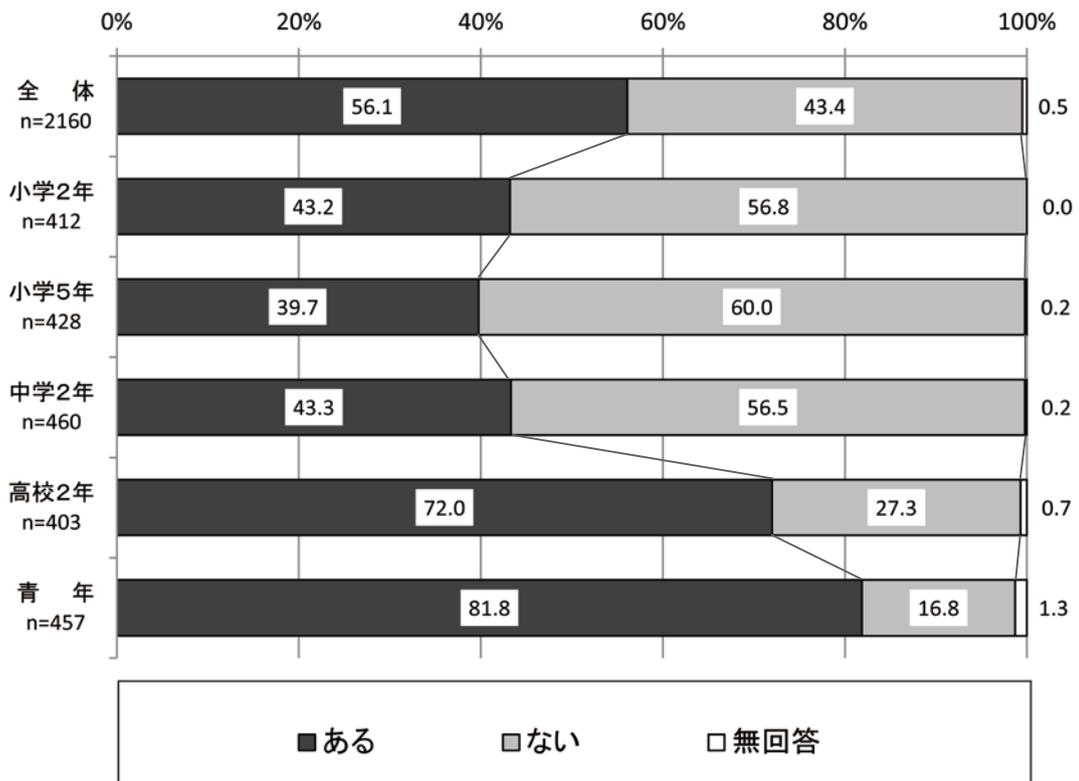
▶▶▶ 5 悩みの有無

問
あなたは、悩みや心配なことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

「ある」と回答した割合が最も多かったのは青年で、8割を超えている。二番目に多かったのは高校2年で7割である。小学2年、小学5年、中学2年はそれぞれ約4割である。

図66

悩みの有無



※青年は、問13について「悩みがない」と回答した割合を「ない」に表示し、有効回答者数 (n= 457) から「悩みがない」「無回答」を除いた割合を「ある」に表示した。

▶▶ 6 悩みの内容(平成17年度調査との比較)

問
質問7(悩みの有無)で、「1ある」を選んだ人に質問します。それはどんなことについてですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較して見ると、「進学や就職のこと」と回答している高校2年が平成17年度と比べて2倍以上に増加している。また「勉強や成績のこと」と回答している小学2年、中学2年、高校2年も増加している。

「家族のこと」については、全ての年代で減少している。特に中学2年と高校2年は半分以下に減少している。

表5

悩みの内容(平成17年度調査との比較)

(単位：%)

選	択	肢	進学や就職のこと	勉強や成績のこと	友だちのこと	家族のこと	先生のこと	家庭の経済のこと	自分の性格のこと (小2：自分のこと)	自分の体のこと	異性のこと
小学2年	平成23年度 n=176		—	38.1	29.5	34.1	4.0	—	22.2	25.0	—
	平成17年度		—	33.6	39.9	37.9	4.8	—	33.6	14.7	—
小学5年	平成23年度 n=164		20.1	34.8	42.1	17.1	5.5	5.5	22.6	15.2	7.3
	平成17年度		4.8	36.8	37.6	29.2	11.9	1.9	21.2	6.3	7.8
中学2年	平成23年度 n=195		34.9	56.4	35.9	14.4	1.5	8.7	17.9	8.2	11.3
	平成17年度		19.2	55.9	43.2	31.6	15.4	3.9	24.4	7.9	6.8
高校2年	平成23年度 n=284		62.7	53.2	21.1	9.2	1.1	9.2	20.8	15.1	15.8
	平成17年度		31.2	47.9	35.4	31.5	11.6	4.3	32.7	12.2	12.4
青年	平成23年度 n=457		—	—	3.9	6.3	—	—	—	—	9.8

※青年の「家族のこと」は、「親子関係」(10人)、「嫁姑関係」(10人)、「夫婦関係」(9人)の合計。

※青年には、平成17年度に比較できるデータがない。

選 択 肢		部活動の こと	遊びのこ と	結 婚	就 職 や 転 職	仕 事	金 銭	そ の 他	無 回 答
小学2年	平成23年度 n=176	—	16.5	—	—	—	—	13.1	6.3
	平成17年度	—	40.9	—	—	—	—	9.8	1.2
小学5年	平成23年度 n=164	14.0	9.1	—	—	—	—	4.9	0.6
	平成17年度	11.9	21.6	—	—	—	—	5.8	1.6
中学2年	平成23年度 n=195	25.6	—	—	—	—	—	4.6	1.5
	平成17年度	32.1	—	—	—	—	—	3.2	1.6
高校2年	平成23年度 n=284	26.1	—	—	—	—	—	1.4	0.0
	平成17年度	31.3	—	—	—	—	—	4.4	0.7
青年	平成23年度 n=457	—	—	11.8	29.5	30.4	24.9	12.7	1.3

7 悩みの相談相手

問
あなたは、悩みや心配なことを、だれに相談していますか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

一番多かった項目は、小学2年と小学5年では「母」であり、中学2年、高校2年、青年では「友だち」である。

表6

悩みの相談相手

(単位：%)

選択肢	父	母	兄弟、 姉妹	祖父、 祖母	おじ、 おば	担任の先生 (小2：先生)	保健室 の先生	その他の 先生 (教育相談、 部活動など の先生)	先輩	友だち
小学2年 n=408	40.0	70.3	17.2	15.7	2.2	19.6	-	-	-	31.6
小学5年 n=421	27.3	63.2	11.2	13.1	1.4	6.4	1.4	1.4	1.0	34.2
中学2年 n=456	12.5	43.4	11.4	3.9	1.3	8.6	1.8	2.6	7.7	50.2
高校2年 n=397	10.1	34.3	10.6	1.8	0.5	3.8	2.0	2.8	8.1	64.0
青年 n=482	11.8	41.3	17.2	2.3	0.2	1.7	-	-	1.9	47.7

選択肢	医師・ 看護師 など医療 関係者	役所の 相談機 関	その他 の相談 機関	電話相 談	相談相 手が ない	誰かに 相談し よう と思 わない	恋人・ 配偶者	職場の 上司	職場の 同僚	その他	無回答
小学2年 n=408	-	-	-	-	-	9.3	-	-	-	4.2	0.2
小学5年 n=421	0.2	-	-	0.5	4.0	15.0	-	-	-	5.2	2.6
中学2年 n=456	0.2	0.2	0.0	0.2	2.6	23.9	-	-	-	2.6	4.2
高校2年 n=397	0.5	0.0	0.3	0.3	4.0	18.1	-	-	-	2.3	3.0
青年 n=482	1.9	2.3	-	-	4.4	11.0	31.1	5.4	12.9	1.2	1.0

▶▶▶ 8 青年の対人関係に関する意識

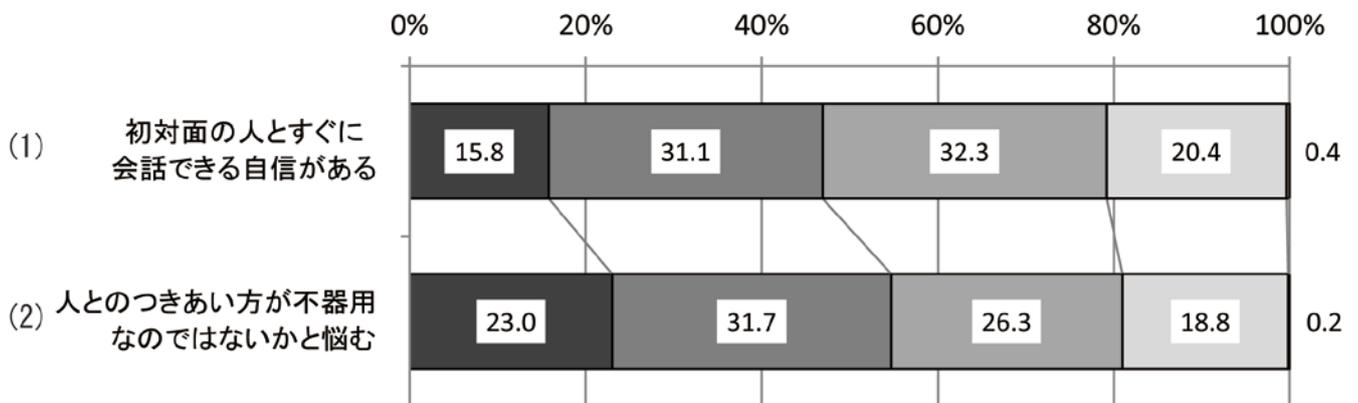
問
 次の(1)～(2)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

「初対面の人とすぐに会話できる自信がある」については、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせても、5割を下回っている。

「人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む」については、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせると5割を超えている。

図67

青年の対人関係に関する意識 (n = 495)



■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえいいえ □いいえ □無回答

▶▶▶ 9 やればできると思った体験の有無（平成17年度調査との比較）

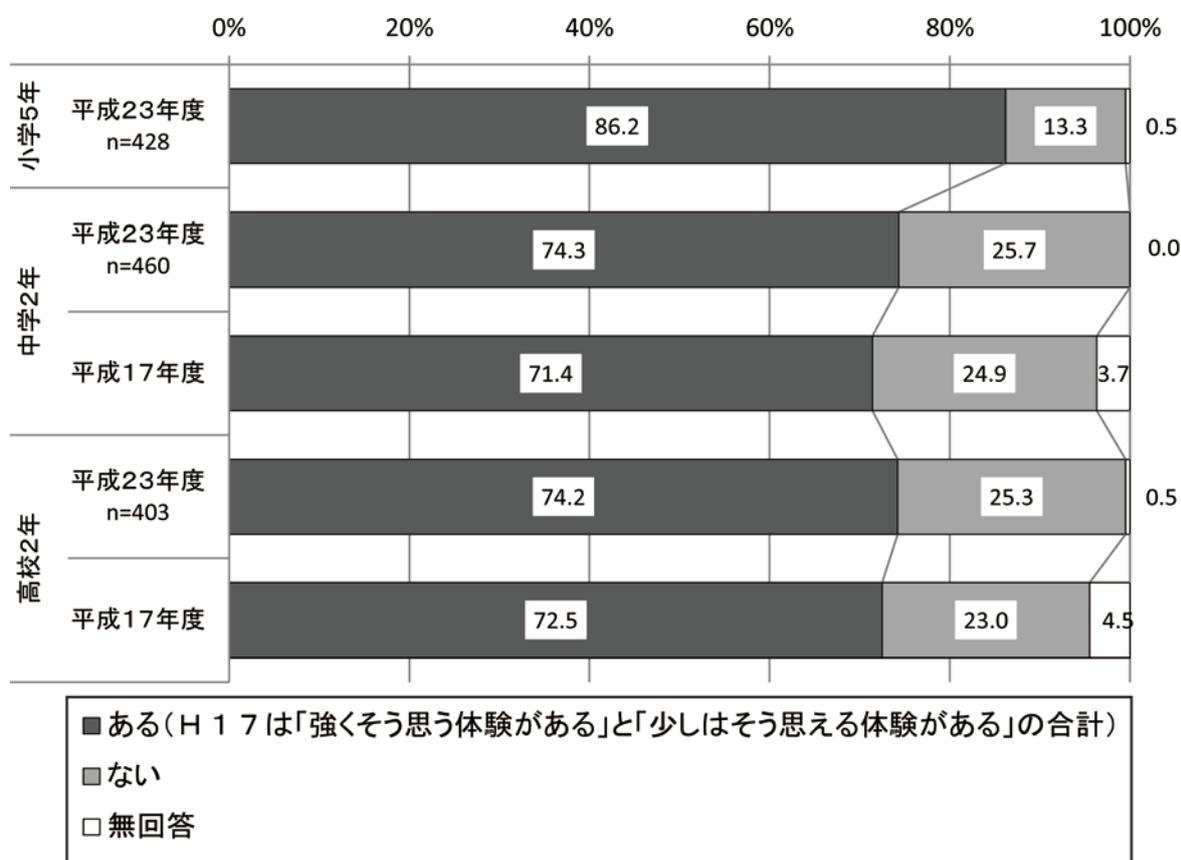
問
あなたは「自分もやればできるんだ」と思えるような体験をしたことがありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

平成23年度、平成17年度とも「自分もやればできるんだ」と思えるような体験が「ある」割合は、全ての年代で7～8割であった。

平成23年度と平成17年度を比較した場合、「自分もやればできるんだ」と思えるような体験が「ある」中学2年と高校2年は、わずかではあるが増加している。しかし、「ない」と回答している中学2年と高校2年もわずかに増加している。

図68

やればできると思った体験の有無（平成17年度調査との比較）



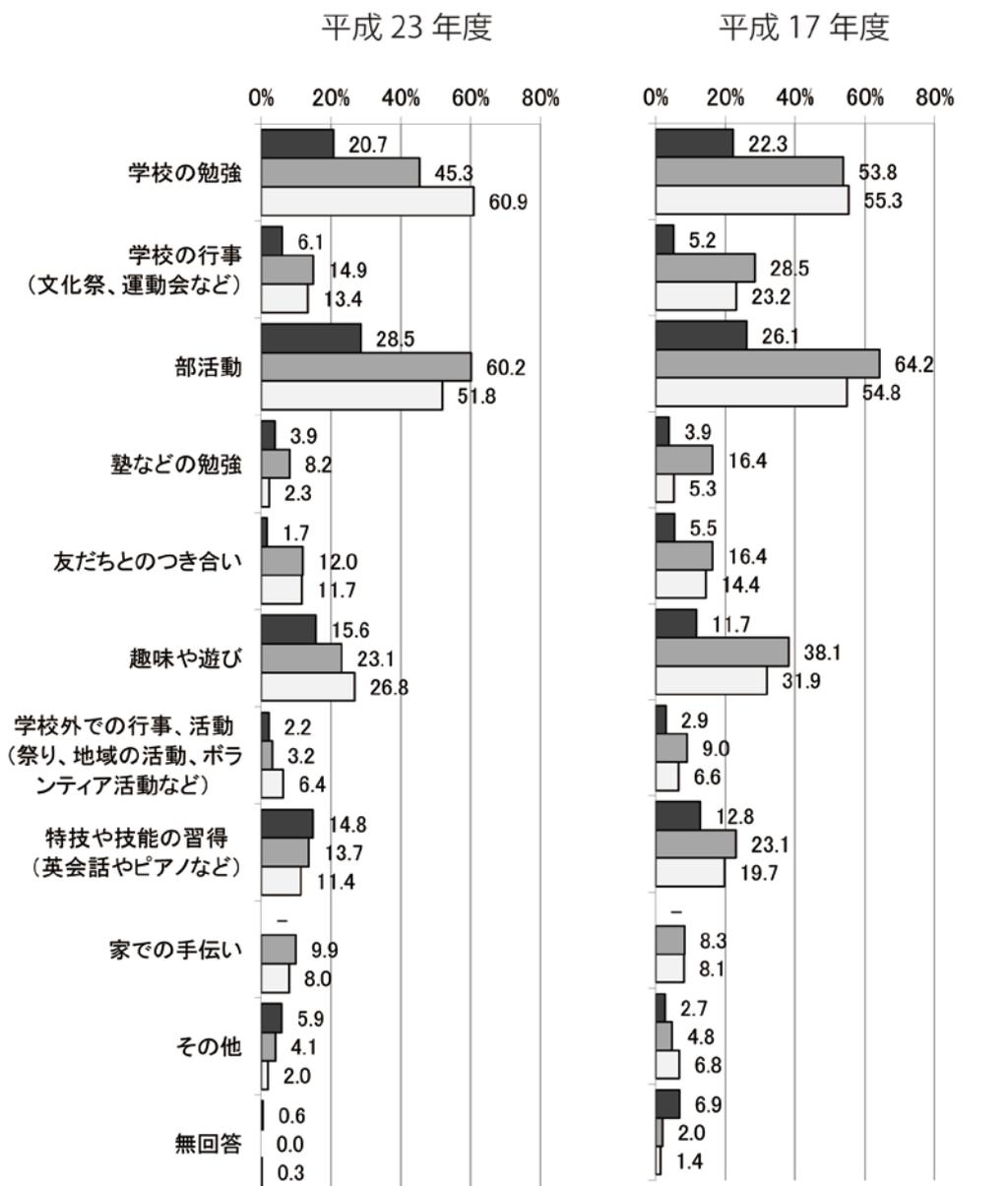
※小学5年には、平成17年度に比較できるデータがない。

▶▶▶ 10 やればできると思った体験の内容（平成17年度調査との比較）

問
質問16（自分もやればできると思った経験）で、「1ある」を選んだ人に質問します。どんなことで「自分もやればできると」思いましたか。当てはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較すると、どの項目でも減少傾向である。
平成23年度が増加している項目は、「その他」を除き、小学5年の「学校の行事（文化祭、運動会など）」、「部活動」、「趣味や遊び」、「特技や技能の習得など（英会話やピアノなど）」、中学2年の「家での手伝い」、高校2年では「学校の勉強」となっている。

図69 やればできると思った体験の内容（平成17年度調査との比較）



■小学5年 n=358
■中学2年 n=342
□高校2年 n=299

■小学5年
■中学2年
□高校2年

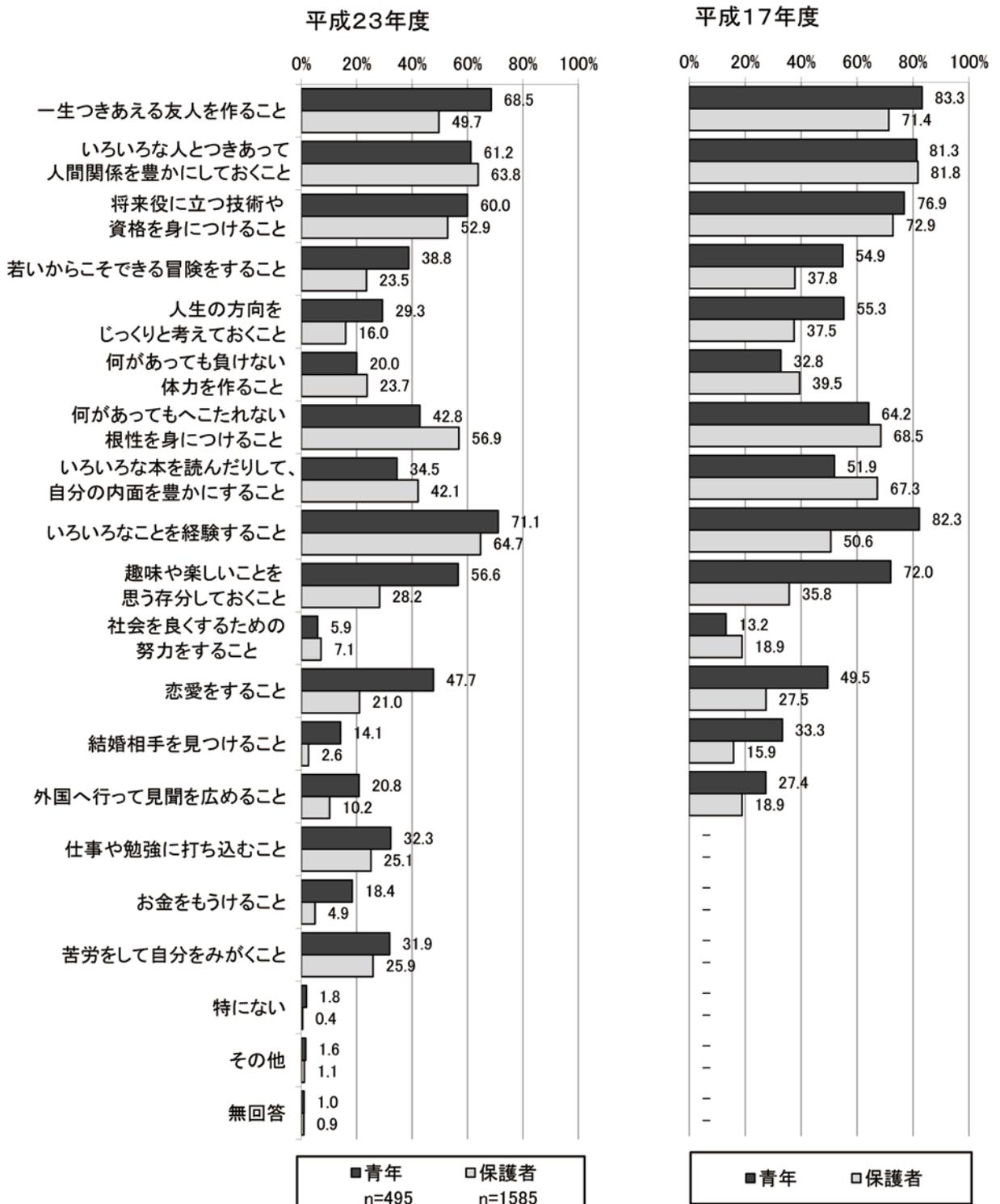
▶▶ 11 青年と保護者が考える若いうちにすべきこと（平成17年度調査との比較）

問
あなたが、「これだけは若いうちに是非やっておくべきだ」と考えていることを次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較して、増加しているのは青年の「いろいろなことを経験すること」である。あとの項目は青年・保護者とも減少している。

図70

若いうちにすべきこと（平成17年度調査との比較）



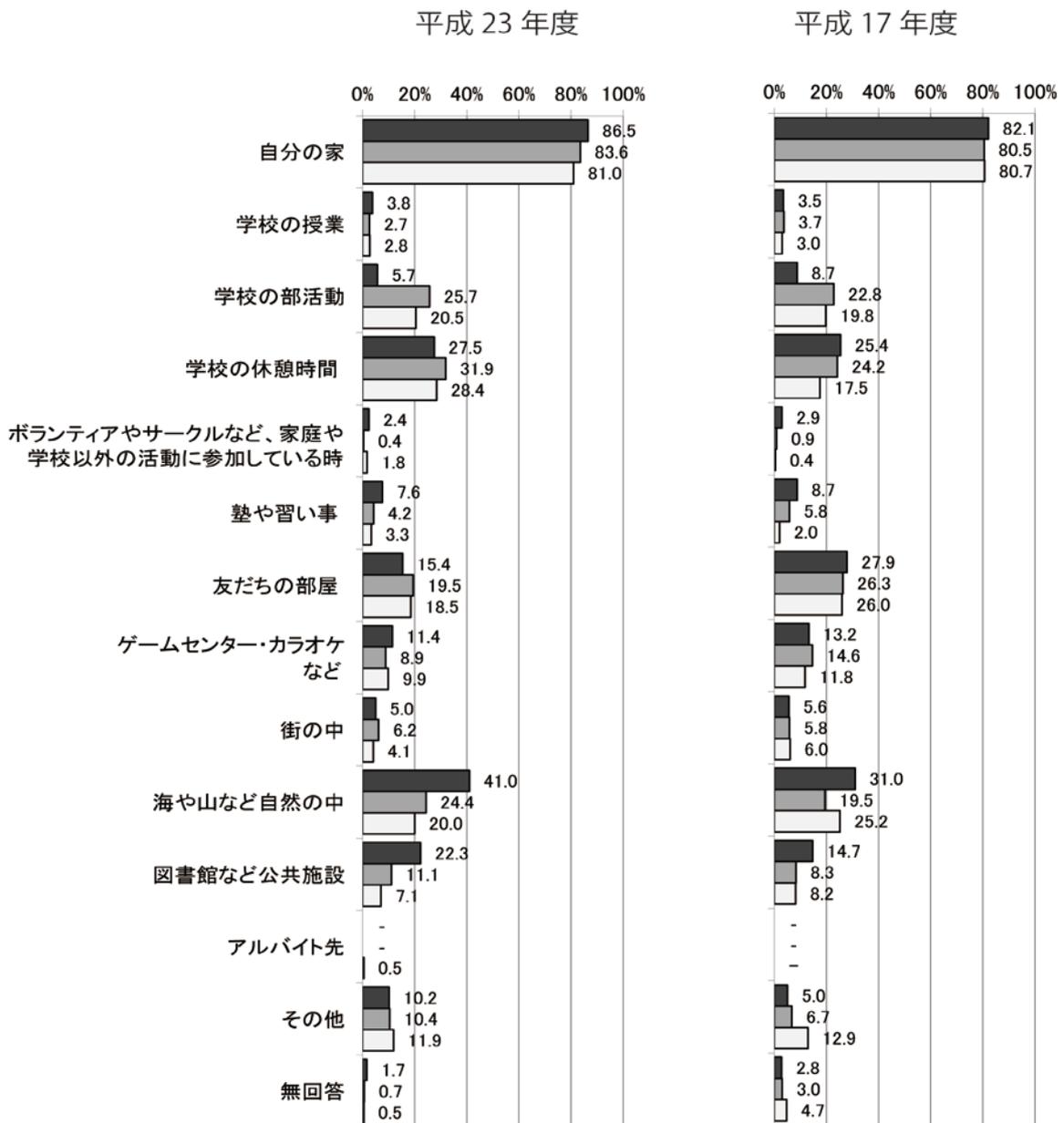
▶▶ 12 居心地のいい場所（平成17年度調査との比較）

問
あなたが居心地がいいと思う「ところ」・「とき」はどれですか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較してどの年代でも増加している項目は、「自分の家」と「学校の休憩時間」である。そして、同じくどの年代でも減少しているのは、「友だちの部屋」と「ゲームセンター・カラオケなど」である。

図71

居心地のいい場所（平成17年度調査との比較）



■小学5年 n=422 □中学2年 n=451 □高校2年 n=395

■小学5年 □中学2年 □高校2年